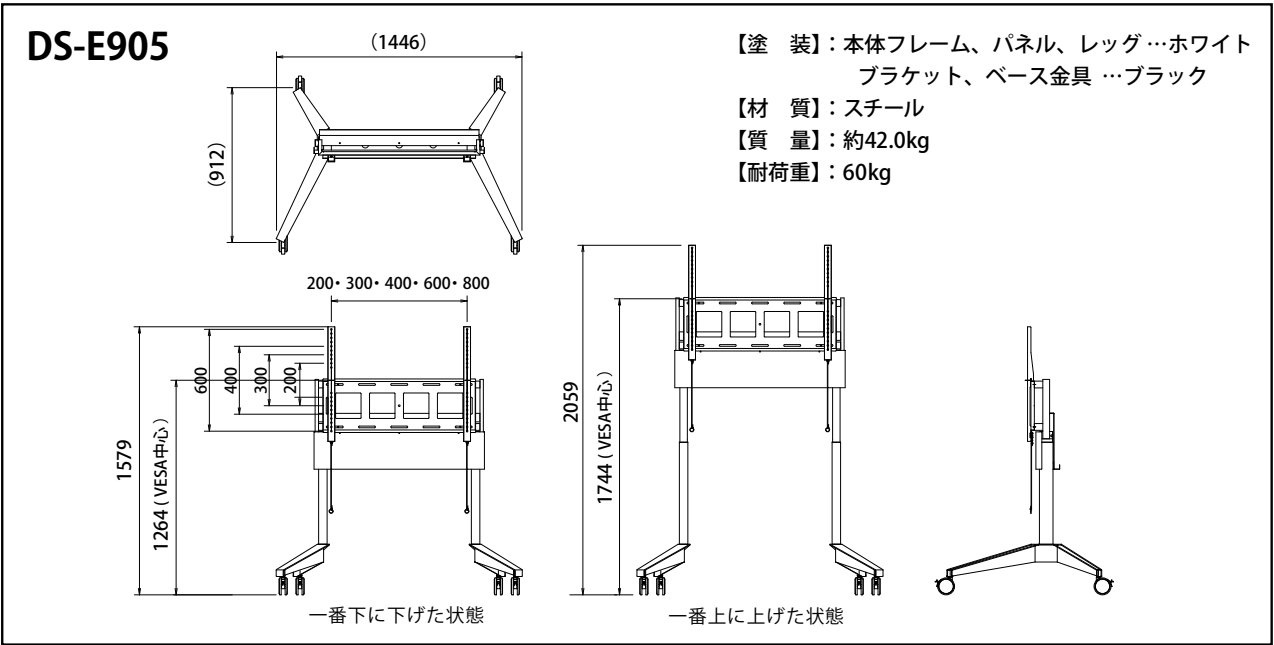
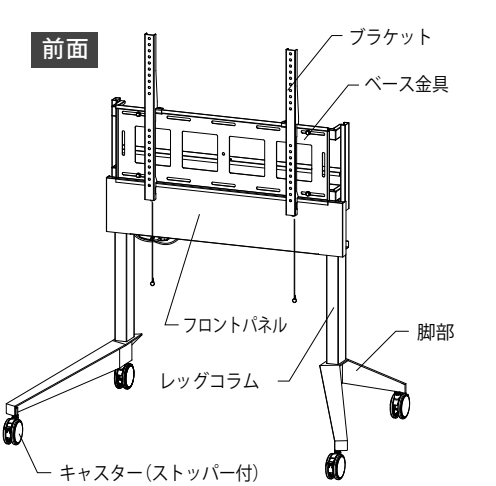


寸法図

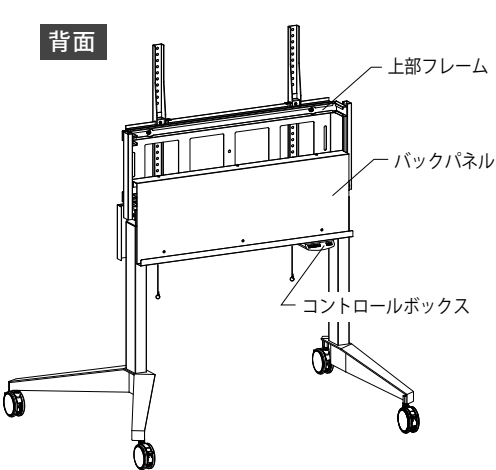


完成図

- ❗ 床や製品を傷つけないように柔らかい布などを敷いて組み立ててください。
- ❗ 必ず2人以上で組み立ててください。



【本体部品】			
名称	数量	名称	数量
補強バー	1	ベース金具	1
脚部(右)	1	フロントパネル	1
脚部(左)	1	コントロールボックス	1
レッグコラム(右)	1	電源アダプタ	1
レッグコラム(左)	1	電源ケーブル	1
ドライブシャフト	1	ブラケット	2
上部フレーム	1	バックパネル	1

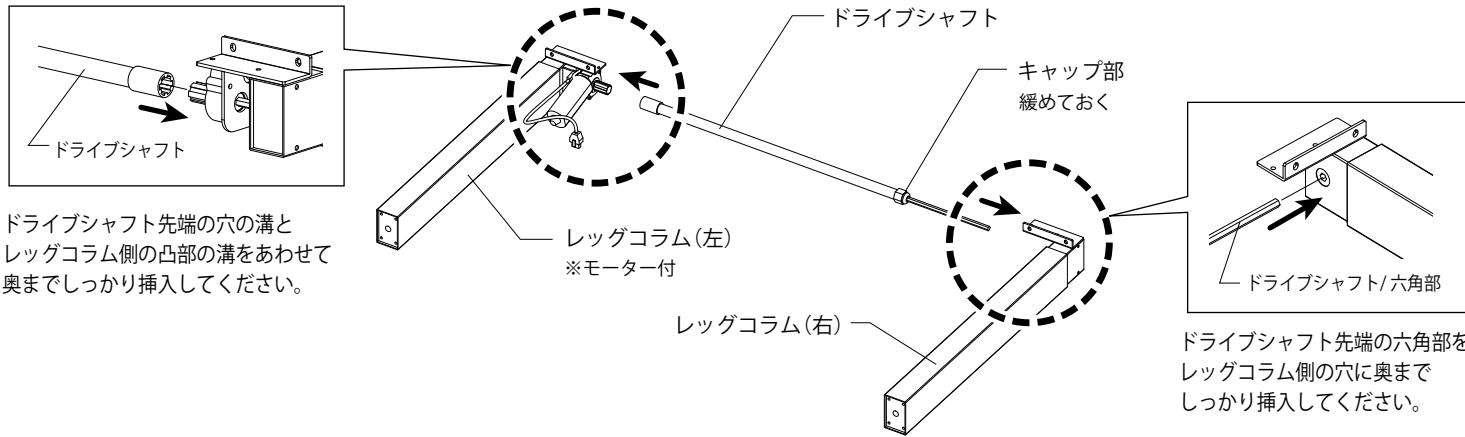


【付属部品】			
名称	数量	名称	数量
キャスター(ストッパー付)	4	コントロールボックス取付ネジ	
スプリングワッシャー (M12)	4	バインドネジ (M3×10)	2
キャスター取付用スパナ	1	コントロールボックス取付ナット	
補強バー取付ネジ バインドネジ (M6×15)	8	フランジナット (M3)	2
上部フレーム取付ネジ		コントロールボックス取付用ドライバー	1
バインドネジ (M6×15)	4	ジュラコンブッシュ	4
ベース金具取付ボルト		ディスプレイ取付 ナベセムス P3 (M6×14)	4
十字穴付き六角ボルト P3 (M8×15)	4	ディスプレイ取付 ナベセムス P3 (M6×18)	4
ベース金具取付ナット		ディスプレイ取付 ナベセムス P3 (M8×20)	4
フランジナット (M8)	4	ズレ防止金具	2
脚部取付ネジ バインドネジ (M6×15)	8	ズレ防止金具取付ネジ	
フロント/バックパネル取付ネジ		バインドネジ (M5×20)	2
バインドネジ (M4×10)	9	振れ止めネジ バインドネジ (M5×10)	2

※キャスター取付用スパナとコントロールボックス取付用ドライバー以外の
工具は付属しておりませんので、お客様や設置作業をされる方での用意となります。

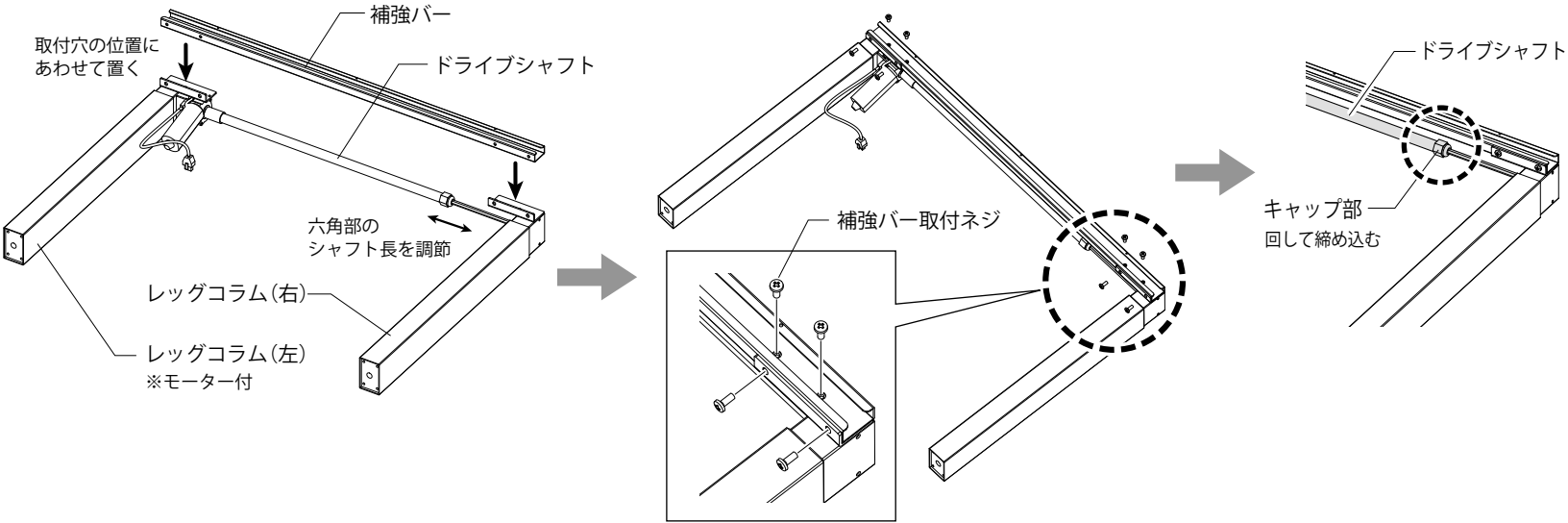
1 レッグコラムにドライブシャフトの差込

- ドライブシャフトのキャップ部をあらかじめ緩めておきます。
- レッグコラム(右)にドライブシャフトの六角側を奥まで差し込みます。
- レッグコラム(左)とドライブシャフトを連結します。



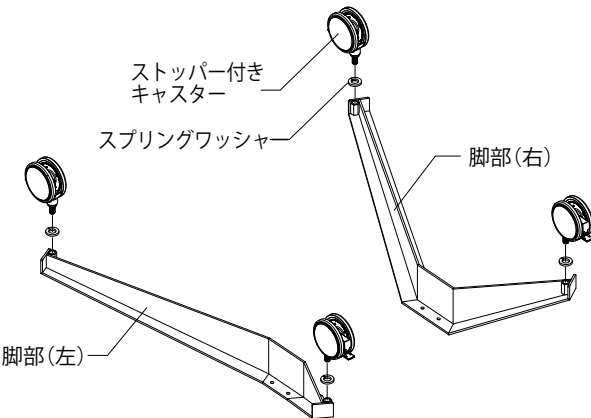
2 レッグコラムに補強バーの取付

- ドライブシャフトの長さを調節しながら、取り付ける補強バーと左右のレッグコラムの取付穴位置をあわせてます。
- 補強バー取付ネジ8本を使用して仮締めし、補強バーを左右のレッグコラムに取り付けます。
- しっかりと取り付けした後、ドライブシャフトのキャップを締め込みます。



3 左右脚部にキャスターの取付

下図のように左右脚部の底面先端部(前後)に付属のスパナを使用して、スプリングワッシャーとキャスターを取り付けます。



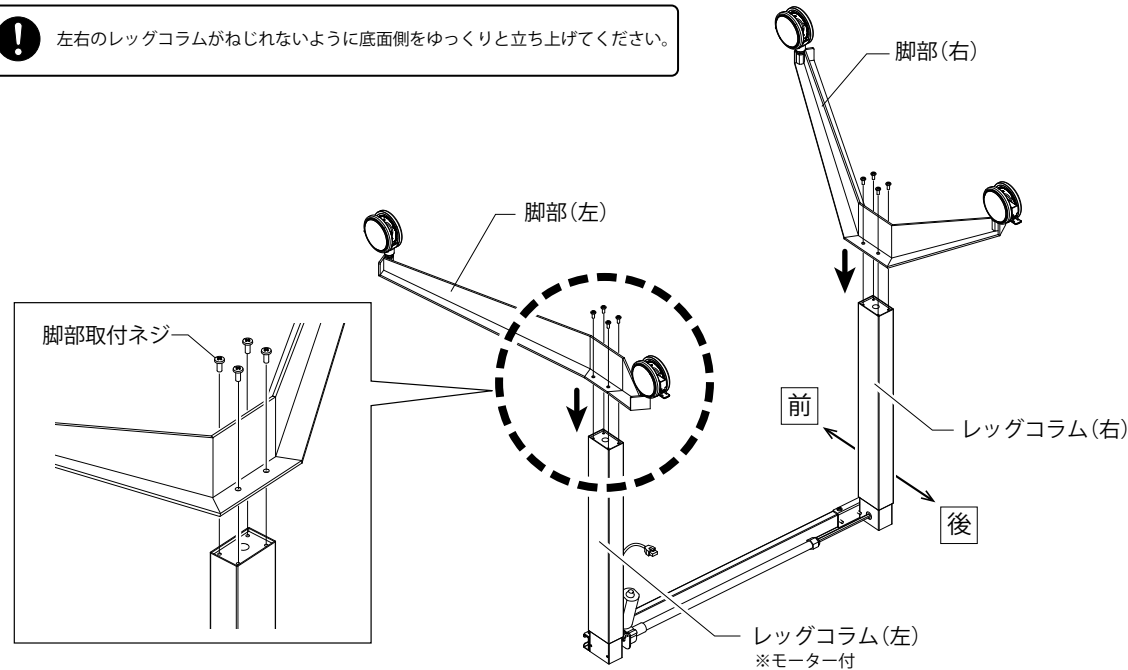
4 レッグコラムに左右脚部の取付

レッグコラムの底面側を上にして立ち上げ、下図のように脚部取付ネジ8本で、左右の脚部を間違えないよう取り付けます。

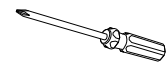
❗ 必ず2人以上で作業を行ってください。

❗ 脚部の取付の際は、左右のレッグコラムがねじれないようにしっかりと支えてください。

❗ 左右のレッグコラムがねじれないように底面側をゆっくりと立ち上げてください。



使用工具



プラスドライバー

5 上部フレームの取付

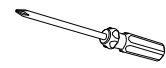
1. 脚部を下にしてスタンドを立てます。
2. 取付作業を行う前にキャスター4個の全てのストッパーをロックします。
3. 左右レッグコラム上部と上部フレームの取付穴の位置をあわせて、上部フレーム取付ネジ4本で取り付けます。最後に **2** で取り付けけたネジとあわせて本締めします。

❗ やわらかい床面や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。本製品の転倒やけがの原因となります。

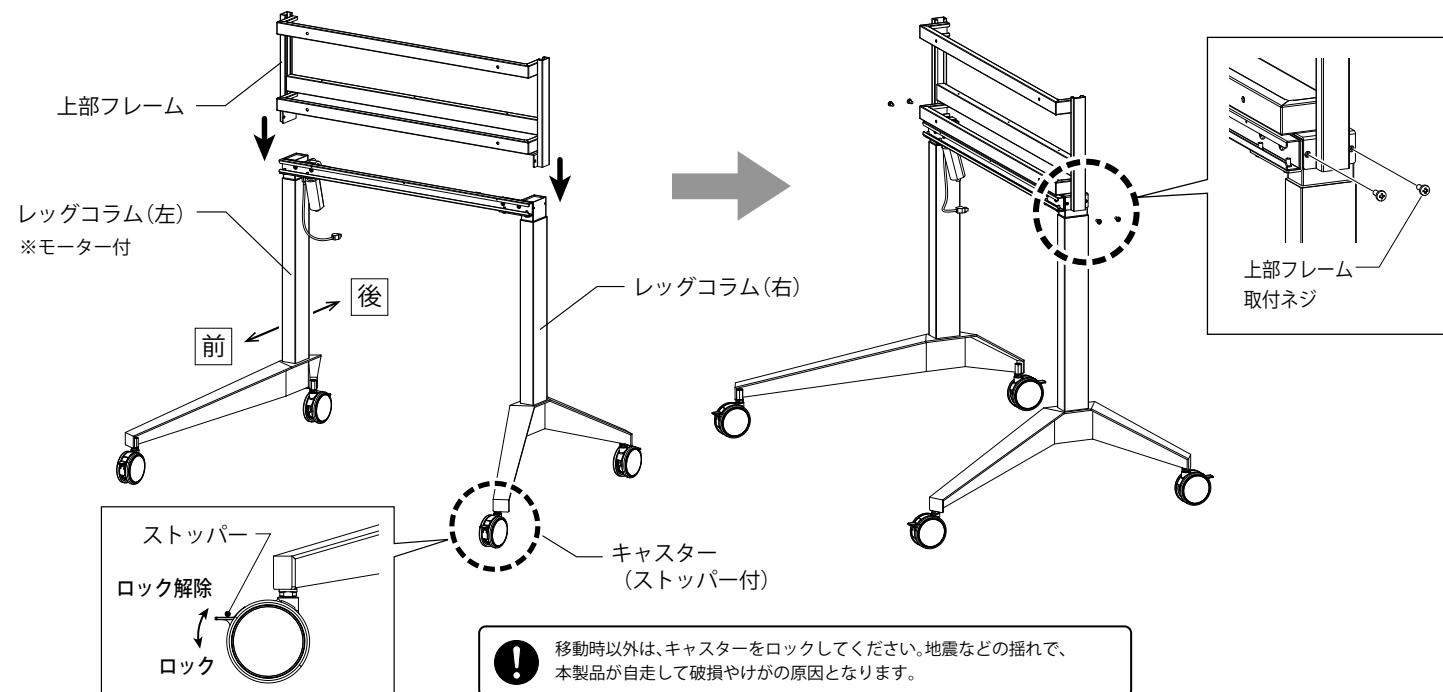
❗ 必ず2人以上で作業を行ってください。

❗ 左右のレッグコラムがねじれないようにゆっくりと立ち上げてください。

使用工具



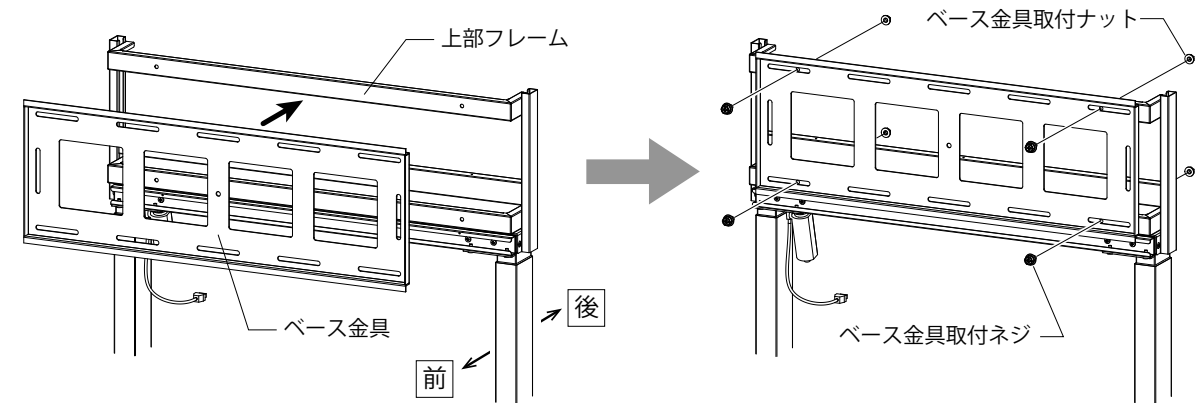
プラスドライバー



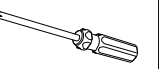
❗ 移動時以外は、キャスターをロックしてください。地震などの揺れで、本製品が自走して破損やけがの原因となります。

6 上部フレームにベース金具の取付

上部フレームにベース金具取付ネジ4本とベース金具取付ナット4個を使用して、ベース金具を取り付けます。



使用工具



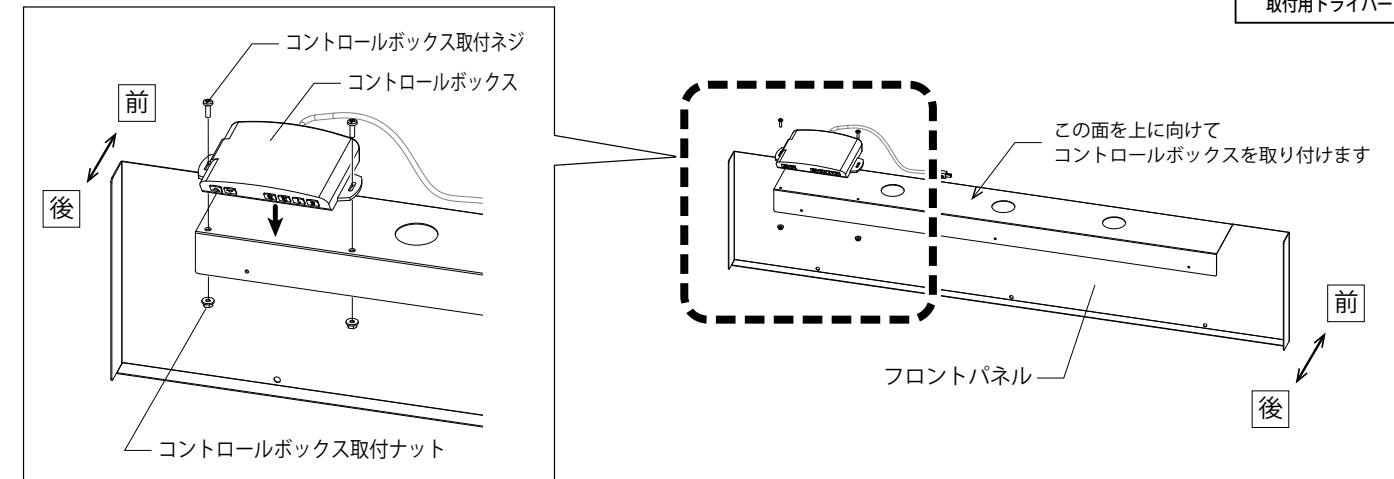
プラスドライバー



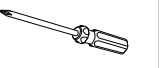
ボックスレンチ
(対辺12mm)

7 フロントパネルにコントロールボックスの取付

下図のようにフロントパネルの底面側を上に向けて、コントロールボックスをコントロールボックス取付ネジ2本と取付ナット2個、取付用ドライバーを使用して取り付けます。取り付ける際は、コントロールボックスの前後に気を付けてください。



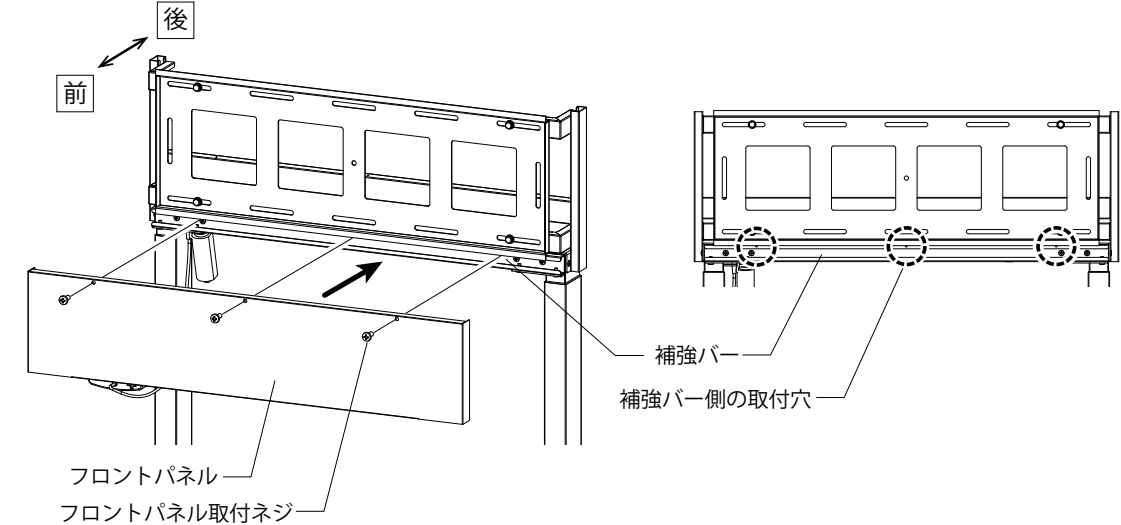
使用工具



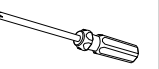
コントロールボックス
取付用ドライバー

8 補強バーにフロントパネルの取付

下図のようにフロントパネルをフロントパネル取付ネジ3本を使用して仮締めして、補強バーに取り付けます。



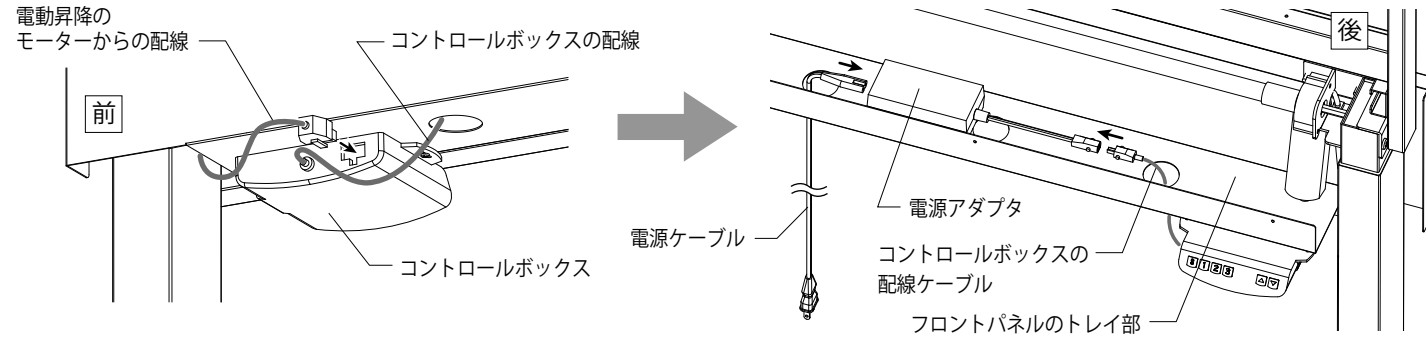
使用工具



プラスドライバー

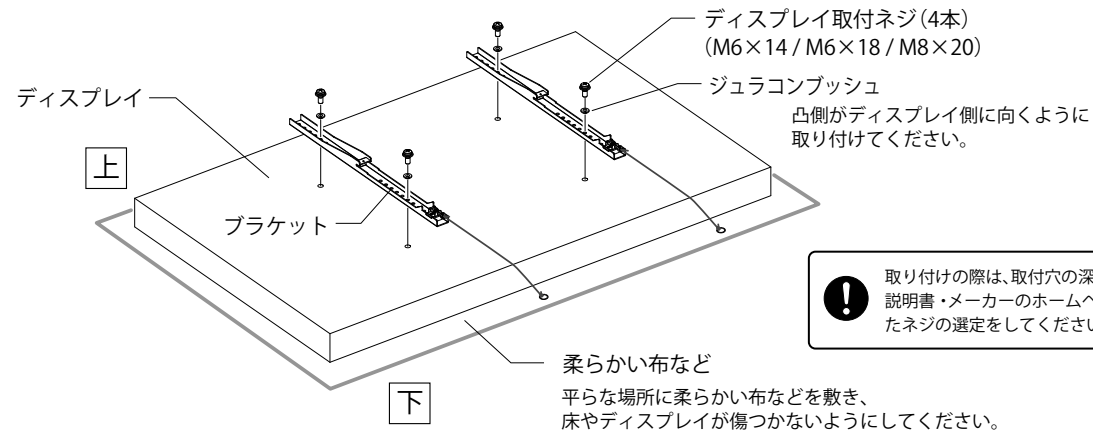
9 電動昇降の配線

1. モーターからの配線をコントロールボックスへ接続します。
2. コントロールボックスの配線を電源アダプタへ接続します。 ※電源アダプタはフロントパネルの背面側トレイ部へ設置します。
3. 電源アダプタに電源ケーブルを差し込みます。



10 ディスプレイにブラケットの取付

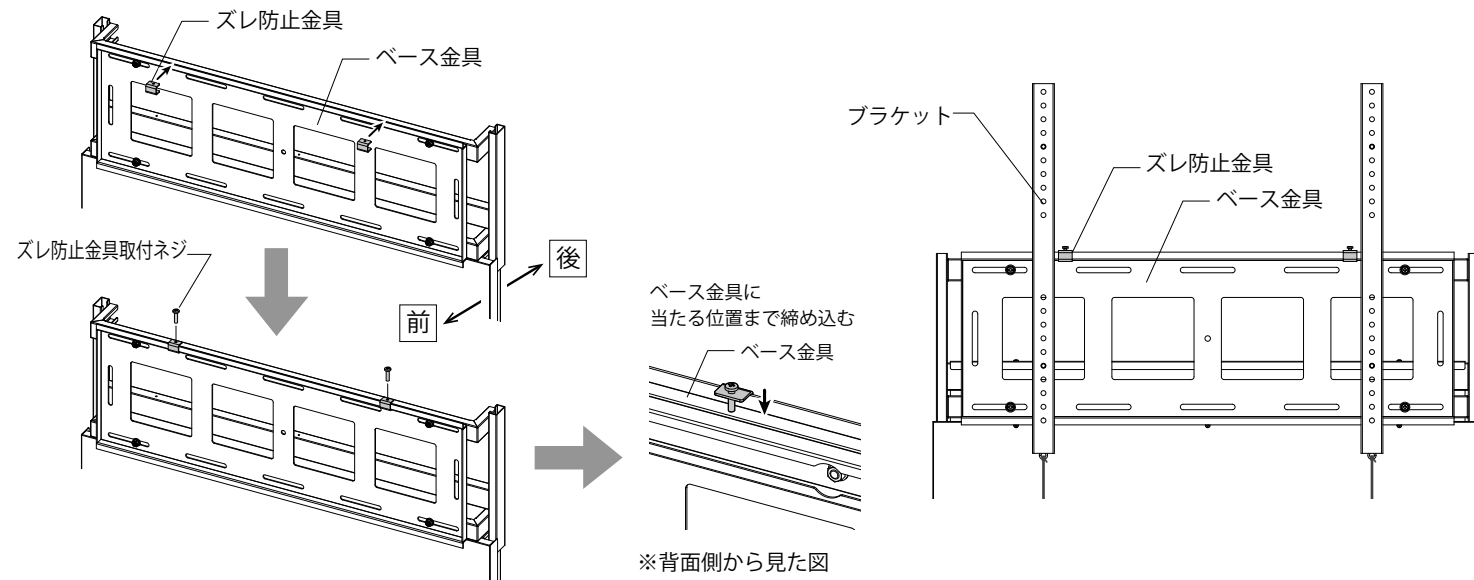
ディスプレイに最適な取付ネジを付属ネジの中から選定し、ディスプレイ背面にブラケットを取り付けます。
※M6のネジを使用する際は、付属のジュラコンブッシュを使用してください。



！ 取り付けの際は、取付穴の深さを使用するディスプレイの取扱説明書・メーカーのホームページなどで確認の上、深さにあったネジの選定をしてください。

11 ベース金具にズレ防止金具の取付

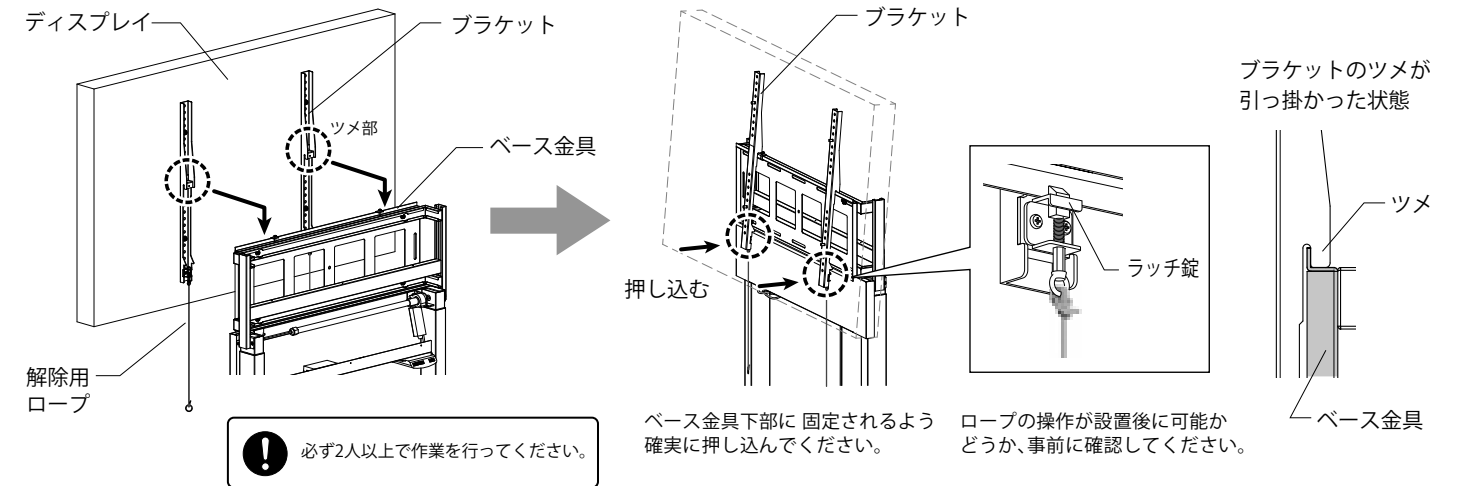
1. ベース金具の上部に付属のズレ防止金具取付ネジでズレ防止金具を取り付けます。ズレ防止金具は、あとで取り付けるモニターブラケットの外側または内側の左右2箇所に取り付けます。
2. ズレ防止金具取付ネジは、ベース金具に当たる位置までしっかりと締め込みます。



※背面側から見た図

12 ディスプレイの取付

1. ブラケットのツメ部をベース金具上部に引っ掛けます。必ずツメ部が引っ掛かっていることを確認してください。
 2. ブラケット下部を押し込み、ベース金具にブラケットを固定します。この際、ブラケットのラッチ錠がベース金具下部に固定されるように確実に押し込みます。 ※取り付けにくい場合は、解除用ロープを引きながら押し込みます。
- ※ ディスプレイを取り外す際は、解錠ロープを引きながらディスプレイ下部を持ち上げるようにします。



！ 必ず2人以上で作業を行ってください。

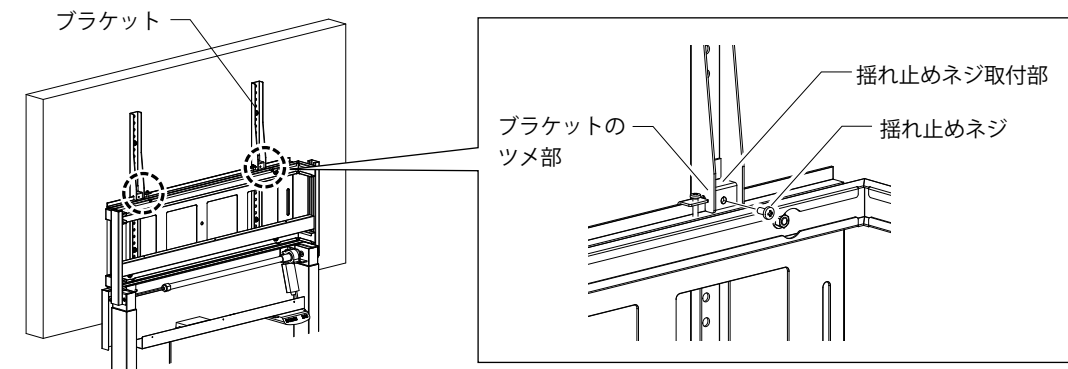
ベース金具下部に固定されるよう確実に押し込んでください。 ロープの操作が設置後に可能かどうか、事前に確認してください。

13 ディスプレイや周辺機器の配線

フロントパネル背面側のトレイ部でディスプレイや周辺機器の配線を行って納めます。

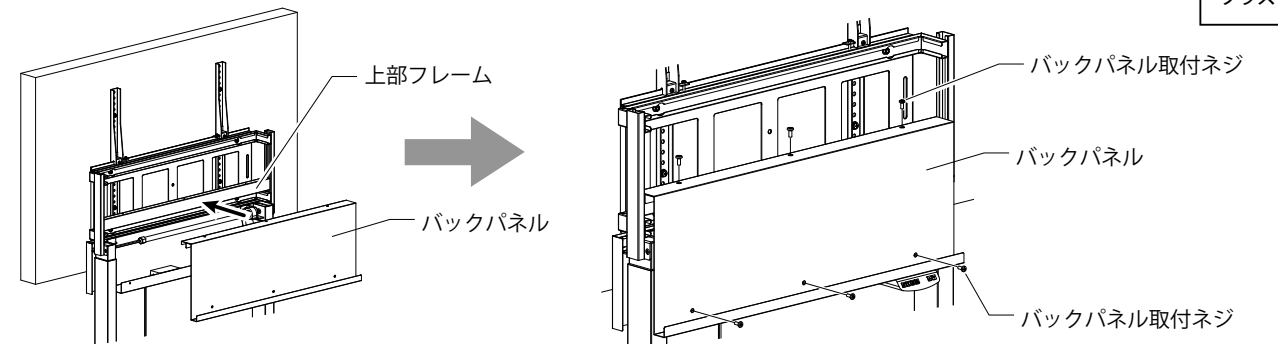
14 揺れ止めネジでの固定

ブラケットのツメ部に取り付けてある揺れ止めネジ取付部に付属の揺れ止めネジをしっかり締め込んで固定します。



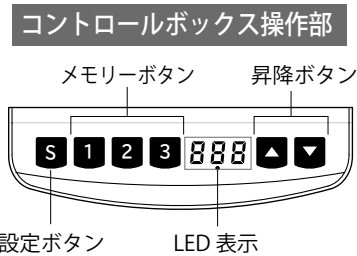
15 バックパネルの取付

1. 付属のバックパネル取付ネジ6本を使用して上部フレームにバックパネルを仮締めして取り付けます。
2. 最後に8でフロントパネルを取り付けたフロントパネル取付ネジ3本とあわせて本締めします。



16 昇降操作について

背面側のバックパネルの右下部に取り付けられているコントロールボックスの操作ボタンを押してディスプレイの昇降操作ができます。



- ・最大48cmの範囲で高さ調節が可能です。
- ・使用する高さを3つまでメモリーに記録することが可能です。

連続での昇降操作はしないでください。再使用までは10分間休止させてください。(1分動作後、8分休止)

昇降操作中は可動部などに指を挟まないように注意してください。

昇降する際は、人や障害物など周囲の環境に十分注意して操作してください。

リセット 初めて使用する際は必ずリセットを行ってください。移動などで電源ケーブルなどを外した際も同様にリセットを行ってください。

- 長押し 「E-1」と「rES」が交互に表示されるまで下ボタンを長押しします。
- 長押し 再び下ボタンを長押しするとディスプレイが動き出します。ディスプレイが止まった後「070 (27.6)」が表示されたら離してリセット完了です。※表示方法がcmの時は「070」、inchの時は「27.6」が表示されます。

リセット作業中は衝突検知機能が機能せず、ディスプレイが70cm (29.6inch) まで下がります。挟み込みの危険があるため、リセットを行う前に必ず昇降範囲に人や物などの障害物がないことを確認してください。

表示される単位の変更 (cm / inch)

- 長押し(3秒) 「S--」が表示されるまでSボタンを約3秒間長押しします。
- 項目選択 上(下)ボタンを押し、「unt」を選択します。※LED表示は「S--」⇄「HLP」⇄「unt」⇄「S--」の順で切り替わります。
- or 選択 cm表示にする場合は1ボタンを、inch表示にする場合は2ボタンを押します。
- Sボタンを押すと設定完了です。

昇降操作

- 上ボタンを押し続けている間上昇し、上限に到達すると自動で停止します。
- 下ボタンを押し続けている間下降し、下限に到達すると自動で停止します。

高さ表示の変更

初期設定では一番下に下げた際の高さ表示が070(70cm)と表示されますが、表示を変更して一番に下げた状態を000とすることも可能です。

- 長押し(10秒) 「A--」が表示されるまでSボタンを約10秒間長押しします。
- 項目選択 上(下)ボタンを押し、「End」(現在の高さと交互表示)を選択します。 ※LED表示は「A--」⇄「End」⇄「P--」⇄「rES」の順で切り替わります。
- 1～3ボタンを押して高さを修正します。
1：3桁目、 2：2桁目、 3：1桁目の数字が1ずつ増えます。(9の次は0に戻ります)
※設定する際の表示の単位はmmで表示されますが、Sボタンを押した設定後は単位がcmへ変換されます。
表示の変更範囲は000～999mm (99.9cm) となります。
- Sボタンを押すと設定完了です。

高さの記録 (メモリ機能)

- ディスプレイを操作して記録したい高さにします。
- 長押し(3秒) 「S--」が表示されるまでSボタンを約3秒間長押しします。
- or or 1～3ボタンのどれか1つ(記録させたいボタン)を押します。
 1ボタン：「S-1」と現在の高さが交互に表示されます。
 2ボタン：「S-2」と現在の高さが交互に表示されます。
 3ボタン：「S-3」と現在の高さが交互に表示されます。
- Sボタンを押すと記録完了です。

ストロークの上限・下限の変更

故障の原因となる可能性があるため、必要な時のみこの設定を行い、頻繁に設定変更をすることはお控え下さい。

- 長押し(3秒) 「S--」が表示されるまでSボタンを約3秒間長押しします。
- 項目選択 上(下)ボタンを押し、「HLP」を選択します。※LED表示は「S--」⇄「HLP」⇄「unt」⇄「S--」の順で切り替わります。
- or 選択 上限を変更する場合は1ボタンを、下限を変更する場合は2ボタンを押します。
 上限：「H-P」と現在の高さが交互に表示されます。
 下限：「L-P」と現在の高さが交互に表示されます。
- 上(下)ボタンでお好みの高さにします。
- Sボタンを押すと記録完了です。

この操作でストローク下限を変更した場合でも、リセット時にはディスプレイが70cm (29.6inch) まで下がります。ストローク下限を変更した後にリセット操作を行う場合は、必ず障害物の確認をして下さい。

衝突検知機能

使用する前にあらかじめ人や物などの障害物がないか確認してください。

- 進行方向に障害物を検知すると、ディスプレイに「E-2」が表示されます。反対方向に少し戻った後に停止しますので、再使用するためには障害物を取り除いてください。

衝突検知センサーの感度調節

- 長押し(10秒) 「A--」が表示されるまでSボタンを約10秒間長押しします。
- 項目選択 上(下)ボタンを押し、「P--」を選択します。 ※LED表示は「A--」⇄「End」⇄「P--」⇄「rES」の順で切り替わります。
- or 選択 上昇時のセンサー感度を変更する場合は1ボタンを、下降時のセンサー感度を変更する場合は2ボタンを押します。
- 現在の感度が表示されるので、上(下)ボタンでお好みの感度にします。数値が低いほど感度が敏感になります。
- Sボタンを押すと記録完了です。

ケーブル抜け検知

モーターとの接続が正しくされているか検知します。

- モーターとの接続が正しくされていないと、「E-3」と「rES」が交互に表示されます。一旦電源コードを抜き、全てのケーブルが正しく接続されているのを確認してから電源ケーブルを差し込んで下さい。
- 使用前に必ずリセット作業を行って下さい。

初期化

全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 長押し(15秒) 「FAC」が表示されるまでSボタンを約15秒間長押しする。
- もう1度Sボタンを押すと初期化完了です。

エラーコード一覧

- リセットが必要です。マニュアルに従いリセット作業を行ってください。
- 過負荷状態です。過負荷の原因となるものを取り除いてください。操作するときは負荷を約80kg以下になるようにしてください。
- 衝突を検知すると反対方向へ少し動作後、自動で停止します。障害物がある場合は取り除いてください。
- 過熱保護中です。中間休止なしで連続動作した場合に保護のため停止します。表示時間(分)の休止後、再び動作可能になります。
- 左右の脚の高低差が2.5cm (1 inch) 以上になると停止します。マニュアルに従いリセット作業を行ってください。
- ケーブルの接続が不十分です。全てのケーブルが正しく接続されているか確認後、リセット作業を行ってください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

	警告	この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。		この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。		この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	この絵表示は、指に気をつけていただきたい「注意」内容です。		

警告

	記載している耐荷重以上のディスプレイは取り付けしないでください。耐荷重を超えた質量のディスプレイを取り付けると、本製品の転倒やディスプレイの落下などによる破損やけがなどの原因となります。
	ディスプレイの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。金具やディスプレイの落下などによる事故の原因となります。
	壊れた部品を使用しないでください。落下などによるけがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。
	本製品の改造・変更は行わないでください。金具やディスプレイの落下や破損、感電など事故の原因となります。
	揺れや振動の多い場所へは設置しないでください。金具やディスプレイの落下などによる破損やけがの原因となります。
	スタンドに乗ったり、ぶら下がったりしないでください。転倒やディスプレイの落下などによる破損や事故の原因となります。
	電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。破損して火災や感電の原因となります。
	電源プラグをコンセントに差し込む際は、濡れた手で抜き差ししないでください。感電する恐れがあります。
	ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しを行う際は、必ず2人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業はディスプレイの落下などによる破損やけがの原因となります。
	使用中にジョイント部やネジのゆるみ、がたつきが生じた場合は必ず締め直し、直らない場合は使用を中止してください。ゆるみやがたつきがあるまま使用すると本製品の転倒や金具、ディスプレイの落下などによる破損やけがの原因となります。

注意

	本製品の設置については、販売店や工事店にご相談ください。お客様による工事は一切行わないでください。本製品やディスプレイの破損やけがの原因となります。
	連続での昇降動作はしないでください。再使用までは10分間休止させてください。（1分作動後、8分休止）
	不安定な床面や傾斜面などの場所に設置しないでください。本製品の転倒などによる破損やけがの原因となります。
	お手入れの際は、水やアルコールを使用しないでください。
	安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
	移動時以外は、キャスターをロックしてください。地震などの揺れで、本製品が自走して破損やけがの原因となります。
	本製品を移動させる際は、ディスプレイの高さをコントローラーで一番下に下げた状態で行ってください。
	最初に昇降機能を使用する前や移動などで電源ケーブルを抜き差しした時は、リセットを必ず行ってください。
	雷雨時や長期間使用にならない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は、電源ケーブルを抜いてから行ってください。
	昇降する際は、人や障害物など周囲の環境に十分注意して操作してください。
	本製品を移動させる際は、床面の段差や傾斜に注意しながら周囲を確認し、ゆっくりと移動してください。転倒などにより本製品の破損やけがの原因となります。
	本製品はVESA規格に準拠した製品です。それ以外のディスプレイは取り付けられません。
	本製品は屋内、気温0～40°での使用を想定しています。
	昇降操作中は、可動部などに手や指を挟まないように注意してください。

本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、まことに恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社

電話：03-3636-0011(代表) ホームページ： <https://www.forvice.co.jp> メール： marketing@forvice.co.jp